

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 7 年 3 月 26 日(2025.3.26)

【公開番号】特開 2024-78954(P2024-78954A)
【公開日】令和 6 年 6 月 11 日(2024.6.11)
【年通号数】公開公報(特許)2024-107
【出願番号】特願 2022-191599(P2022-191599)
【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

A 6 3 F 7/02 3 2 6 C

A 6 3 F 7/02 3 1 0 C

【手続補正書】

【提出日】令和 7 年 3 月 17 日(2025.3.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

動作可能に構成される動作手段を備えた遊技機において、

弾性変形可能に構成される弾性手段を備え、

前記動作手段の動作に伴い作用部が所定領域に位置する変位体に作用された場合に当該変位体の変位され得るように構成され、

少なくとも所定位置を変位されている前記変位体が窓部を通じて遊技者に視認され得るように構成され、

30

前記作用部が前記変位体に作用される際の前記動作手段の動作速度が所定速度よりも遅い場合には、前記作用部の作用により変位される前記変位体が前記所定位置まで変位されず前記弾性手段に非当接とされ、

前記作用部が前記変位体に作用される際の前記動作手段の動作速度が前記所定速度よりも速い場合には、前記作用部の作用により変位される前記変位体が前記所定位置を変位され当該変位された前記変位体が前記弾性手段に当接され得るように構成され、

前記作用部が前記変位体に作用される際の前記動作手段の動作速度が少なくとも前記所定速度よりも速い場合において前記作用部の作用により前記所定位置を変位された前記変位体を検出し得るように構成される検出手段を備え、

前記動作手段が、所定の区間で第 1 方向と前記第 1 方向とは反対の第 2 方向とに繰り返し動作され得るように構成され、

40

前記作用部が弾性変形可能に構成され、前記動作手段の動作に伴い前記作用部が前記変位体に作用された場合に、前記作用部が弾性変形され得るように構成されることを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 2】

50

動作手段の作用部が変位体¹に作用されると変位体¹が変位され得る遊技機が知られている（特許文献 1）。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

しかしながら、上述した遊技機では、変位体¹の変位に関して改善の余地があるという問題点があった。

10

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、上記例示した問題点を解決するためになされたものであり、変位体¹の変位に関して好適とできる遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

この目的を達成するために請求項 1 記載の遊技機は、動作可能に構成される動作手段を備えたものであり、弾性変形可能に構成される弾性手段を備え、前記動作手段の動作に伴い作用部が所定領域に位置する変位体¹に作用された場合に当該変位体¹が変位され得るように構成され、少なくとも所定位置を変位されている前記変位体¹が窓部を通じて遊技者に視認され得るように構成され、前記作用部が前記変位体¹に作用される際の前記動作手段の動作速度が所定速度よりも遅い場合には、前記作用部の作用により変位される前記変位体¹が前記所定位置まで変位されず前記弾性手段に非当接とされ、前記作用部が前記変位体¹に作用される際の前記動作手段の動作速度が前記所定速度よりも速い場合には、前記作用部の作用により変位される前記変位体¹が前記所定位置を変位され当該変位された前記変位体¹が前記弾性手段に当接され得るように構成され、前記作用部が前記変位体¹に作用される際の前記動作手段の動作速度が少なくとも前記所定速度よりも速い場合において前記作用部の作用により前記所定位置を変位された前記変位体¹を検出し得るように構成される検出手段を備え、前記動作手段が、所定の区間で第 1 方向と前記第 1 方向とは反対の第 2 方向とに繰り返し動作され得るように構成され、前記作用部が弾性変形可能に構成され、前記動作手段の動作に伴い前記作用部が前記変位体¹に作用された場合に、前記作用部が弾性変形され得るように構成される。

30

40

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

請求項 1 記載の遊技機によれば、変位体¹の変位に関して好適とできる。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】11595

50

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 1 1 5 9 5 】

H 1 0	パチンコ機（遊技機）
H 1 4 e	窓部
D 1 2 0 , D 2 1 2 0 , D 3 1 2 0 , D 4 1 2 0	上側揺動手段（変位体）
D 1 3 0	下側揺動手段（変位体）
D 1 4 3 b 2	突設部（作用部）
D 1 4 7 b	突設部（作用部）
D 1 5 3 b 2	突設部（作用部）
D 1 5 7 b	突設部（作用部）
D 1 4 3	第 1 正面カム（動作手段）
D 1 4 7 , D 2 1 4 7	第 2 正面カム（動作手段）
D 1 5 3	第 1 正面カム（動作手段）
D 1 5 7	第 2 正面カム（動作手段）
D 1 8 1	上側バネ（弾性手段）
D 1 8 2	下側バネ（弾性手段）
D 2 1 8 3	付勢手段（弾性手段）

10

20

30

40

50